文法への扉2 言葉の関係を考えよう（文の組み立て）(1)

文節の関係

文節は、文の中での働きによって、主語・述語・修飾語（しゅうしょく）・接続語・独立語に分けることができる。

①主語・述語

「何（だれ）が」を表す文節を主語、「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある（いる）・ない」を表す文節を述語という。主語と述語の関係を、**主・述の関係**という。

・庭に／きれいな／花が（主語）／咲く（述語）。

「……が」の他、「……は」「……も」「……だけ」なども主語を表すことがある。主語が省略された文もある。

・花も（主語）／咲いた（述語）。　・きれいに／咲いた（述語）ね。

※まず述語を見つけてから、「何が（だれが）」に当たる文節（主語）を探すとよい。

②修飾語

「何の」「どんな」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」など、他の部分をくわしく説明する文節を修飾語という。修飾語と修飾語を受ける文節（被（ひ）修飾語）の関係を、**修飾・被修飾の関係**という。

・庭に（修飾語）／きれいな（修飾語）／花が／咲く。

③接続語

文や文節をつなぐ文節を接続語という。接続語がつなぐ文同士の関係や、接続語と後に続く部分の関係を**接続の関係**という。

・晴れた。／だから、（接続語）／外出した。

・晴れたので、（接続語）／外出した。

④独立語

他の文節と直接は結びつかない文節を独立語という。独立語とそれ以外の文節の関係を**独立の関係**という。

・ああ、（独立語）／すばらしい／景色だ。　（感動）

・こんにちは、（独立語）／いい／天気ですね。　（挨拶（あいさつ））

・先生、（独立語）／宿題です。　（呼びかけ）

・はい、（独立語）／わかりました。　（応答）

・早寝早起き、（独立語）／これが／大切です。　（提示）

確認テスト

(1) 例に従って、次の各文に含(ふく)まれる主語に══線を、述語に──線を引きなさい。ただし、主語が省略されている文は述語のみに線を引きなさい。

(例) 庭に きれいな 花が 咲く。

① ネコは とても 身近な 動物です。

② 昨日、私も その 駅に いました。

③ 友達と 図書室で 資料を 探した。

④ 難しいよ、この 問題は。

(2) 次の文について、①~④の修飾語が修飾している文節をそれぞれ**ア**~**エ**から選びなさい。ただし同じ記号を何度使ってもよい。

明るい 星が、南の 空に 美しく 輝(かがや)いた。

① 明るい〔　〕〔　〕　② 南の〔　〕〔　〕

③ 空に〔　〕〔　〕　④ 美しく〔　〕〔　〕

ア 星が　**イ** 空に　**ウ** 美しく　**エ** 輝いた

(3) 次の中から、──線部が接続語では**な**い**も**の**を選びなさい。

ア 雨なので、今日は休みです。

イ 暑ければ、窓を開けてね。

ウ 博士、これを見てください。

エ 一時間たった。だが、まだ着かない。

〔　〕

(4) 次の中から、──線部が独立語では**な**い**も**の**を選びなさい。

ア 一日一善、これをいつも心がけています。

イ 突然、激しい雨が降り出した。

ウ おや、お久しぶりですね。

エ いいえ、それは間違(まちが)いです。

〔　〕